

平成 25 年度家庭科教育にかかわる現状と課題

部長 大野美恵子

1 家庭科教育の動向

(1) 授業実践に基づく研究

【上越地区】では、「児童生徒が生活の自立を目指し、進んで実践する態度を育む支援の工夫」を主題に、上越市立大瀧小学校の梅澤京子教諭が「まかせてね 今日の食事」の公開授業を行った。ポスターセッションで献立を発表し、家族への思いを表現することができた。

【中越地区】では、「よりよい生活を創り出す児童を育成するための授業改善」を主題に、長岡市立黒条小学校の熊倉美恵子教諭が「元気な毎日と食べ物」の公開授業を行った。津軽智子栄養教諭と TT 指導で児童の話し合いを適切に支援し充実させることができた。また、十日町市立飛渡第一小学校の五十嵐潔美教諭が「元気パクパク飛渡米で、お・も・て・な・し」の公開授業を行った。栄養教諭のアドバイスが児童の理解を深めるのに有効であった。

【下越地区】では、「家庭科における言語活動の充実」を主題に、新発田市立御免町小学校の中野史子教諭が「おすすめ 私たちの新発田弁当」の公開授業を行った。栄養士の助言を受けながらキーワードとなる言葉を念頭に、児童は主菜・副菜について話し合い、献立を立てることができた。また、関川村立関川小学校の宮地聡子教諭が「まかせてね！栄養バランス満点の食事作り」の公開授業を行った。家族とのかかわりや「感謝」の気持ちを重視した題材構成であった。

【新潟地区】では、新潟市立新通小学校の小黒美和子教諭が「気持ちよく生活しよう」の授業を行った。「すっきりマスターになろう！」を合い言葉に活動を展開した。題材や本時を貫く子どもの課題の重要性が明らかになった。

(2) 新潟県小学校教育研究会指定研究事業三年次発表

平成 25 年 11 月 15 日（金）佐渡市立赤泊小学校で「自分の思いや考えを進んで表現し、かかわり高め合う子どもの育成」を主題に、風間薫教諭が「工夫しよう暖かな生活」の公開授業を行った。実践的・体験的な活動から思考の根拠となる言葉やデータなど児童が実感を伴って理解し、自然に児童の説明に使われていた。

(3) 実践意欲を高めるための家庭科指導の工夫

地域の伝統食を学び、食育の大切さを伝えるために地域の人から学ぶ調理実習を行っている。柏崎市では「鯛茶漬けの調理実習」、妙高市では「山もち、キャベツのクルミ和え、のっぺ」、加茂市では「ごぼうっぱの笹団子」、燕市西蒲原郡では「蒸しパン、白菜のクリーム煮」、三条市では「車麩、下田ポークの調理」、阿賀野市では「のっぺ、蒸気パン」の調理実習を行った。

2 家庭科教育の課題

家庭科は生きる力そのものを育む教科である。これからも家庭との連携を密にしながら実践的・体験的な授業のあり方を探り、よりよい生活を送るための実践力を身に付けさせていきたい。